

一般質問日程 3月4日(火)

令和7年2月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
1	24	三好國章	1. 湯元水処理センターから中宮祠水処理センター全般について (1) 湯元水処理センターから中宮祠水処理センター全般について 昭和26年湯元温泉から中宮祠まで温泉を引き湯している。 そこに、湯元水処理センターから中宮祠水処理センターまでパイプラインを併設すると仮定して概算見積をお尋ね致します。
2	4	福田悦子	1. お悔やみコーナーの設置について (1) お悔やみコーナーの設置について 2020年12月議会にて「お悔やみコーナー」設置を提案したが、当時の答弁は「1階のワンフロアに手続きが必要な関係各課が主に配置されていることから、動線が分かりやすく、スムーズな案内につながっており、今後とも現在の対応を基に、関係各課と連携を図りながら、より一層ご遺族に寄り添った丁寧な接遇を実施し、満足度の高いサービスが提供できるよう努めていく。」とのことで、コーナー設置には繋がらなかった。 ご家族が亡くなると、様々な手続きが必要となり、特に高齢の遺族には大きな負担となっている。 家族を亡くした悲しみの癒えない中での不慣れな手続に戸惑ったという声も届いている。 現在、複雑な各種手続きを一つの窓口で案内し、予約時の情報から市が事前に書類を準備するなど、遺族の負担軽減を図る「お悔やみコーナー」を設置する自治体は増加の一途をたどり、県内でも矢板市、宇都宮市が2月からコーナーを開設する。 市民負担の軽減を考慮し、ワンストップで行う「お

一 般 質 問 日 程 3月4日(火)

令和7年2月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
2	4	福 田 悦 子	悔やみコーナー」設置を再度提案するが今後の方向性は。 2. 市民参加の防災対策について（女性に配慮した避難所対策と指定緊急避難場所の表示板設置） （1）女性に配慮した避難所対策について 阪神大震災から30年が経過し、近い将来必ず来るとされている大規模地震に備えるために、行政の「公助」、地域コミュニティの「共助」、自ら守る「自助」のそれぞれが必要とされている。市内には住民が自主的に開設する指定緊急避難場所（第2避難場所）は、主に公民館や集会場など65箇所ある。自主運営が基本となる避難所であるが、東日本大震災や熊本地震の後、避難所での生活について、「女性だから」という理由で理不尽な目にあったり、女性特有の不便を感じるがあったとメディアが報道。これに対処するため、「避難所開設・運営マニュアル」を作成し、女性リーダーの設置や女性に配慮した運営を定めている自治体もある。女性に配慮した避難所対策と女性リーダーの育成を求めるが、当市の対応は。 （2）指定緊急避難場所の表示板について 市は市民に対し、あらかじめ、最寄りの避難場所・避難経路、避難所を確認し、災害に備えておきましょうと呼びかけている。 現在、地震・大雨などによる甚大な自然被害が多発している状況の中、指定緊急避難場所の表示板は平常時から人々の目に触れることで災害の危険性や避難の重要性の認識・周知にも繋がり、災害発生時の避難場所への円滑な移動が期待できる。計画的に表示板の設置を求めるが。

開始時刻

1人目：午前10時

3人目：午後1時

一 般 質 問 日 程 3月4日（火）

令和7年2月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
2	4	福 田 悦 子	3. 「日本のこころのうたミュージアム・船村徹記念館」の用途変更について （1）船村徹記念館の用途変更について 2015年開館以降、入館者が減少し赤字が続いていた船村徹記念館は、記念館のターゲット層の高齢化などで、入館者数の増加は見込めない状況下、さらに収益の減少や、施設機能の維持費や修繕費の増加が見込まれることを理由に、2023年度から2025年度までの3年間は、3Dシアター「夢劇場」を停止するなど業務内容を縮小し、入館料を無料にて運営コストの削減を図っている。 今後、市は船村徹記念館開館後10年が経過する2026年度以降、用途変更の検討を反映した形の運営を行うスケジュールであるが、用途変更に向けての対応と今後の見通しは。 4. 特定健診受診率向上について （1）特定健診受診率向上について 生活習慣病予防に着目した特定健診を受けると医療費が安く抑えられることが県の分析で明らかになっている。当市の2022年度の特定健診受診率は46.9%であったが、県は県内の特定健診実施率を70%以上、特定保健指導実施率を45%以上を目標値としている。 当市の受診率は、年齢を重ねるごとに高くなる一方、働き盛りの年代層の受診率は低く、この世代の受診率向上を課題にあげている。 市民の健康を守るうえで、受診率向上は欠かせぬ事業であるが今後の対応は。
3	20	嶋 田 正 法	1. 子どもの自転車における事故件数や保険加入状況、及び免許制度の導入について

開始時刻

1人目：午前10時

3人目：午後1時

一 般 質 問 日 程 3月4日（火）

令和7年2月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
3	20	嶋 田 正 法	(1) 日光市における、児童・生徒の自転車事故件数と推移について 警察庁によると自転車乗用中の交通事故件数は、総数では減少しているものの、交通事故全体に占める自転車関連事故の割合は増加傾向にあり、対策が求められています。 そこで、本市における児童・生徒の自転車事故件数とその推移についてお伺いします。 (2) 児童・生徒の自転車保険の加入について 栃木県が自転車乗車時の損害賠償責任保険への加入を義務づけて2年半が経過しました。 本市における児童・生徒の自転車保険の加入率についてお伺いします。 (3) 児童・生徒に対する交通安全教育の現状について 交通事故から子ども達を守るためには、交通安全教育は欠かせません。本市においても、交通安全教育が実施されていると存じますが、実施頻度や教育内容、さらにはその効果についてどのように評価されているのか、お伺いします。 2. 図柄入りナンバープレートの普及に向けた取組について (1) ご当地ナンバープレートについて ご当地ナンバープレートである「日光ナンバー」が本年5月より交付開始を予定しています。導入に至るまでの経緯と、今後どのような効果を見込まれているのかお伺いします。 (2) 図柄入りナンバープレートの普及促進に向けた取組について 「ご当地ナンバー」の中でも、地域の特色を反映させた図柄入りナンバープレートは、地域への愛着の醸成や、地域ブランドの強化にも繋がります。 今後、図柄入りナンバープレートの普及をどのように考えているのかお伺いします。

開始時刻

1人目：午前10時

3人目：午後1時

一般質問日程 3月4日(火)

令和7年2月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
3	20	嶋田正法	3. 歳入の確保について (1) 市有バス車両による広告掲載の事業について 本市の市有バス車両による広告掲載の事業は、観光地としての特色を活かし、観光客や市民に対して効果的に広告を提供する手段となります。特に観光シーズンには高い視認性を誇り、企業や商品の認知度向上に寄与することができます。市としても歳入の増加が期待でき、有用な事業と考えますが、現在の市有バス車両による広告掲載の事業の現状について伺います。 (2) 新たな歳入の確保について 本市では厳しい財政状況に対応するため、行財政改革に取り組み、歳出を抑制し歳入を確保することが重要であると考えます。 特に持続可能な行政経営を行っていく上でも、新たな歳入を確保していくことは必要不可欠と考えますが、本市の考えをお伺いします。
4	10	荒川礼子	1. 子宮頸がん予防対策について (1) 子宮頸がん予防対策について 子宮頸がんの予防にはワクチン接種とがん健診が重要ですが、日本では健診受診率が低く患者が増え続けています。厚生労働省は2024年度から、市区町村が行う子宮頸がん検診にHPV検査を組み込むことを認めました。今回の健診指針改正は、HPV感染者が多い20代は従来通りの「細胞診」だが一定の要件を満たす自治体には30歳以上に「HPV検査」も認めるとの内容です。そこで2点について伺います。 ①本市における子宮頸がん検診の受診率について伺います。 ②HPV検査の導入について伺います。

開始時刻

1人目：午前10時

3人目：午後1時

一般質問日程 3月4日(火)

令和7年2月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
4	10	荒 川 礼 子	(2) キャッチアップ接種について 積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方に対し従来の定期接種の対象年齢を超えて接種の機会を提供するいわゆるキャッチアップ接種期間が令和4年4月1日から令和7年3月31日までであるところ、昨年夏以降の大幅な増加に伴う限定出荷の状況等を踏まえ、期間中に1回以上接種している方については期間終了後も公費で3回の接種を完了できるよう経過措置が設けられておりますが本市の取組について伺います。 2. 带状疱疹ワクチン接種費用助成事業について (1) 带状疱疹ワクチン接種費用助成事業について 昨年8月1日から本市において带状疱疹ワクチン接種費用助成事業が実施されておりますが、現在までの接種実績について伺います。 全体の接種人数、年齢層別の接種人数、生ワクチン、不活化ワクチンの選択比率について伺います。 3. 市民の幸福度（ウェルビーイング）向上について (1) 健康寿命を延ばす対策について 厚生労働省によると2024年の日本の平均寿命は、男性81.09歳、女性87.14歳です。一方健康的に生きる期間を示す「健康寿命」は2022年の推計で、男性が72.57歳、女性が75.45歳、当時の平均寿命と健康寿命との差は、男性8.49歳、女性11.63歳でした。あくまで平均値ですが、男性で約8年、女性で約11年以上も長生きしても健康ではない状態が続くということになります。ある団体が北九州市と東京23区、各政令都市から抽出して行ったアンケート調査では、幸福に暮らすために重要だ

一 般 質 問 日 程 3月4日（火）

令和7年2月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
4	10	荒 川 礼 子	とされているものは健康状態が77.5%、家計と資産が73.4%と他の項目に比べて高いことが分かりました。お金も大事ですが、まずは健康であることが一番だと言う結果だと思います。そこで、本市の現状について伺います。 ①本市の市民の平均寿命と健康寿命について ②本市における健康寿命を延ばす取組について伺います。 （2）市民の幸福度向上について 市民の幸福度を上げるための取り組みについて市の考えを伺います。
5	3	武 田 幸 雄	1．保育園について （1）保育園について 新生児数減少が進む中、200名以上の園児が、通園可能と思われるおひさま保育園が開園しました。市立保育園と民間保育園・幼稚園が、共存していく方策をどのように考えているのかお伺いします。 （2）保育園の給食について おひさま保育園は、給食設備が大変充実しています。今後の給食提供についてお聞かせください。 2．アレルギー対応の幼保小連携について （1）アレルギー対応の幼保小連携について 私の教員の経験上、小学校新入学時のアレルギー対応は大変重要です。現在、日光市では、どの様な連携策をとっているのかお聞かせください。 3．若年性認知症対策について （1）若年性認知症対策について 若年性認知症の方やその家族が抱える課題は、仕事

開始時刻

1人目：午前10時

3人目：午後1時

一般質問日程 3月4日(火)

令和7年2月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
5	3	武 田 幸 雄	や子育てとの両立や地域での孤立といった、深刻な問題を伴います。そこで、2点お伺いします。 ①市で活動している家族会などが訴える具体的な課題について、どのように認識しているのかお伺いします。 ②現在まで、どのような支援策を講じてきたのかお伺いします。 4. カスタマーハラスメントについて (1) カスタマーハラスメントについて ストレス社会と言われて久しいです。 働く人の心身の健全性を保つのは喫緊の課題です。 カスタマーハラスメントについて、地方自治体でも防止条例を制定するなどの事例が見られます。労働生産性・作業効率の向上の点から非常に有効だと思われます。 日光市の取組をお伺いします。